



腹部臓器の立体構造がイメージできる 実践的症例

評者 | 上田剛士 洛和会丸太町病院救急・総合診療科部長

本書は、「急性腹症」の診療において緊急性の高い疾患を診断・除外できる力を身につけるための実用的な書籍です。腹部が専門ではないレジデントでも安心して取り組める内容であり、効率よく学べる構成が魅力的です。救急外来で慌てない実力を身につけたいと考えるすべてのレジデントにお薦めできる1冊です。

本書の大きな強みの1つは、ウェブ上のビューワで確認できる連続画像です。誌面に掲載されている1枚1枚の写真を見るだけでは伝わりにくい腸管などの構造物の「連続性」が、ウェブビューワを使うことでより明確に理解できます。このウェブビューワを活用することで、腹部CTの読影において「立体的」なイメージを形成しやすく、正確な診断につながります。“静止画”と“動画”の情報量の違いと言えわかりやすいでしょうか。

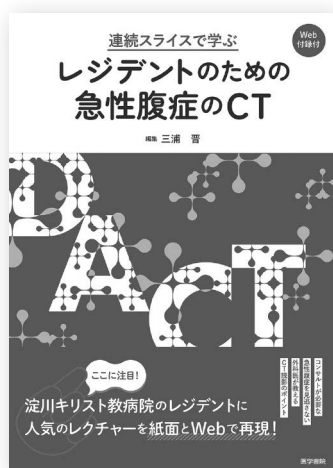
また、忙しいレジデントでも「急性腹症における腹部CTの読影」を一通りマスターできるよう、さまざまな工夫が凝らされています。アトラスのように興味のあるページをパラパラと眺めるだけでも、多くの知識が得られることでしょう。このテキストが救急外来で急性腹症の診療を行うレジデントや患者さんの助けとなることは間違いありません。

ウェブビューワを活用した連続画像で診断力を向上

総じて本書は、腹部CTの読影スキルを向上させるための効果的なアプローチを提供しています。ウェブビューワを活用した連続画像の閲覧が、レジデントの学習をより深いものにしてくれることでしょう。内容も緊急手術や処置が必要な急性腹症を網羅し、各疾患の簡潔な解説や症例提示を通じて、実践的な知識を身につけることができます。

構成も見やすく、まずPart Iでは急性腹症の診療のポイントを学び、Part IIでは各疾患の画像診断のコツを解説しています。最後にPart IIIでは、病歴と身体所見、CT画像から考える実践的な症例を提示しています。これにより、学んだ知識をすぐ実践に活かすことができます。

本書は、レジデントだけでなく、臨床経験を積んだ医師にとっても有益な情報が詰まっており、急性腹症の診療において幅広い知識とスキルを身につけた医療従事者にお薦めできます。ウェブビューワを活用した連続画像のアプローチは、従来の教材にはない新たな価値を提供し、「診断力」の向上に大きく貢献することでしょう。本書を手に取り実践的な知識と技術を身につけて、救急外来で自信をもって急性腹症の診療に臨むことができるようになります。G



連続スライスで学ぶ レジデントのための 急性腹症のCT [Web 付録付]

三浦 晋=編

定価：4,950 円(本体 4,500 円+税 10%)
B5・頁 280/医学書院/2023
[ISBN978-4-260-05092-0]